



目指す児童像

- ・自分も他人も大切にできる子
- ・自ら考え、学び、実践できる子
- ・健康で、ねばり強い子

目指す学校像

- ・わかる喜びと学ぶ楽しさを実感できる学校
- ・児童の主体性と実践力を伸ばせる学校
- ・家庭や地域の思いを支えに、共に子どもたちの未来を築く学校

目指す教師像

- ・笑顔で明るく活力のある教職員
- ・協働一致して指導に当たる教職員
- ・専門職業人として学び続ける教職員

豊かな心を育みます！

体験活動や集団活動を通じた豊かな心の育成

- ◇学級活動や学校行事、たてわり活動等を通して、自分や友達
のよいところ・ちがいに気づき、互いに認め合う心や自分で
考えて行動する態度を育てます。
- ◇係や委員会活動等の児童主体の活動においてそれぞれの役割
や責任を果たせるようにすることで、学級や集団の一員とし
ての自覚を高めます。

子どもたちが中心となった「いじめ防止活動」

- ◇「東小いじめ防止宣言」に基づき、各クラスごとに自分たち
で考えた宣言を採択するなど、自主的ないじめ防止活動を通
して互いに支え合える人間関係を築けるようにします。
- ◇「SOSの出し方・受け止め方教育」や「人権週間」の取組
を通して自他を大切にすることを育み、具体的な行動に結び付
けられるようにします。

道徳・キャリア教育の充実

- ◇道徳の授業において「考える」「議論する」活動を取り入れ、
道徳的な課題を自分自身のこととしてとらえられるようにし
ます。
- ◇「キャリアパスポート」を用いて学習・生活・行事等につい
て定期的に自分を振り返り、新たな学習や生活への意欲を高
めたり、生き方を考えたりすることができるようにします。

保護者・地域との連携

- ◇保護者や地域の方から「スクールサポーター」を募り、児童
の学びの充実を図ります（クラブ活動、ミシン、昔遊び、
その他 活動の見守り等）。
- ◇「読み聞かせ」や「東小ミニコンサート」を実施し、児童の
豊かな心を育みます。
- ◇地域の方々の協力による登校時のあいさつ運動や下校時の
見守り活動を通して、児童の健全育成を図ります。

学校経営の基本方針

- 多面的・共感的・受容的な児童理解
- 育成を目指す資質・能力の明確化
- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実
- 「いじめ・交通事故・学校事故」の根絶
- 地域の教育資源の活用（ひと・もの・自然）



体力を向上させ、楽しく運動に取り組むための取組

- ◇体育の授業における運動量を確保し、体づくり運動や陸上、
球技など様々な運動に取り組むことを通して、基礎的な運
動能力を高めます。
- ◇たてわり活動で運動を取り入れたりと、休み時間の外遊びを
奨励したりすることで、体を動かすことが楽しいと思う
児童を育てます。

健康・安全に留意して生活する態度の育成

- ◇家庭と連携して「早寝・早起き・朝ごはん」「メディア
コントロール」「けがや病気の未然防止」等の取組を進
めることで、安全で規則正しい生活習慣を身に付けます。
- ◇避難訓練（不審者・地震・火災）や交通安全教室等を通
して、「自分の身は自分で守る」行動をとれるようにし
ます。

健康・安全への意識を高めます！

学力の向上を図ります！

主体的な学びと学習内容の確実な定着

- ◇全教員が「学習規律の徹底」「学習のめあての明確化」
「考えさせる場面・対話する場面の設定」「まとめ・振り
返し」を意識した授業づくりを行います。
- ◇高学年を中心に、教科担任制による授業を実施し、学習
意欲の向上、学習内容の理解・定着を図ります（算数・
理科・英語・音楽・体育・図工・家庭など）。

総合的な学習の時間の充実

- ◇現代的な課題や身近な地域における課題から自分で問いを
見出し、ねばり強く探究活動を進められるようにします。
- ◇試行錯誤を繰り返しながら学んだことを自分の生き方につ
なげて考えられるようにします。

タブレットを活用した「新しい学び」の推進

- ◇授業や家庭学習においてタブレットPCを効果的に活用
し、興味・関心、習熟度に応じた学びを進めたり、互いの
意見を交流させたりすることで、学びの質を高めます。

家庭学習の充実

- ◇学年ごとに「家庭学習のすすめ」を配付して、家庭学習
への取組を促します。
- ◇学期ごとの漢字計算コンテストに合わせて「スタディウイ
ーク」及び「メディアコントロールチャレンジ」を実施し、
ねばり強く計画的に学習を進める態度を育てます。

「桐生を好きな子供」の育成

- ◇生活科や総合的な学習の時間等において、身近なまちや桐生
の名物・施設・自然・環境等を題材として取り上げることで、
ふるさと東地区・郷土桐生を愛する児童を育てます。